

「地域」・「連携」・「継続」～「木材」に関わる全ての人々の笑顔のために～

当社は、住宅木材の加工や工務店等への材木の販売を行っています。私は、材木店での修行を経て、平成2年に創業しました。創業時は妻と2人で中古の軽トラック1台を運転し、二人三脚で仕事に励みました。顧客の信用を得るため、木材の肌触りや特性、その機能に至るまで日々勉強を重ね、一つ一つの住宅に最適な木材を提供するため、心をこめて働いてきました。



担い手の育成のため、大学等で講演も行っている

そうした積み重ねにより、「ユーザー、さらにはエンドユーザーとの会話の重要性」に気づきました。私はもともと人々の笑顔が大好きでした。そのため、ユーザーやエンドユーザーの要望や願いを真摯に聞いたうえで、その人々を笑顔にするため仕事に励んできました。今の当社があるのは、そうした姿勢を顧客に評価していただいたおかげだと

思っています。その結果として、顧客からの紹介により、徐々に仕事が増えていきました。これらの経験は、私に「人との繋がり」の大切さを認識させてくれました。

こうして徐々に事業が拡大する中、私の中にはあるキーワードが浮かびました。それは「地域」、「連携」、「継続」です。

「地域」とは、その人が暮らす地域で育った木材を使い、地域を知り尽くした工務店等で家を立てることにより、地域や風土にあった家造りを行うことができる。「連携」とは、林業者、木材加工業者、材木販売業者、工務店等、木材に係わる全ての人々が「地域」を意識して協力する。そして「継続」とは、「地域」・「連携」の動きを一時的なこととせず、継続するため、後継者や担い手の育成に力を入れる。

私は、この「地域」・「連携」・「継続」の循環こそが、人々が幸せに暮らすために重要な要素であると考えているにいたり、この想いを胸に、これからも人々と話し、人々の笑顔のために働き続けたいと思っています。木材に関わる全ての人々の笑顔を思い浮かべ、これからも真摯にこの仕事に取り組んでいきます。そんな私の心は、常に充実感に満ち溢れています。

